

尼崎市立大庄北中学校創立50周年記念式典に向けて

これまでに何回か話したように11月12日(土)10時から1時間半の予定で、「創立50周年記念式典」を行います。みんなを含めて600人以上の出席者になります。

そこで、みんなに晴れの舞台を飾って欲しいと思ひ書いています。50年という節目に当たるみんなに、新たな北中の1ページを記して欲しいんです。11月12日が次の50年に向けて力強く、優しく、美しくはばたくための日であって欲しいんです。

みんなの出番は3つあります。歌(校歌・フェニックス)、吹奏楽部の演奏、生徒代表のあいさつです。「生徒全員参加でみんなで校歌と歌を歌って欲しい」「吹奏楽の演奏で華を添えて欲しい」「生徒のあいさつが聞きたい」というのが、式典を計画していただいている実行委員や卒業生の方々の願いです。実行委員のみなさんは、1年も前からいろんな部会を開いて式典に備えていただいています。

50周年記念式典は式ですから、卒業式や入学式と同じように「美しいもの」「引き締まったもの」であって欲しいと思います。式とは一定の「形」で行う行事のことです。ですから、式は「形」が大切になります。「形」とはあいさつであり、演奏であり、歌です。

また、当日は1時間半の予定ですが、イスに座っている時間が長くなります。姿勢を正して、話を聞くことは勿論、規律、礼など動作を機敏に美しく、引き締めることを意識しましょう。これもやはり「形」です。「形」に理由はありません。日本人が長い年月をかけてつくってきた形式美なんです。茶道や華道、柔道、剣道など道のつくものに多くあります。

話を戻します。主役はやっぱりみんななんです。みんなの姿が見たいんです。それが、当日いらっしゃる100人以上の来賓の方々の願いなんです。

参列されたみなさんや参列できなかった北中の卒業生や関係者の思いを大切にして、いつまでも心に残る、幸せに感じられる式典にしましょう。

次の50年に向けて 校歌を轟かそう。